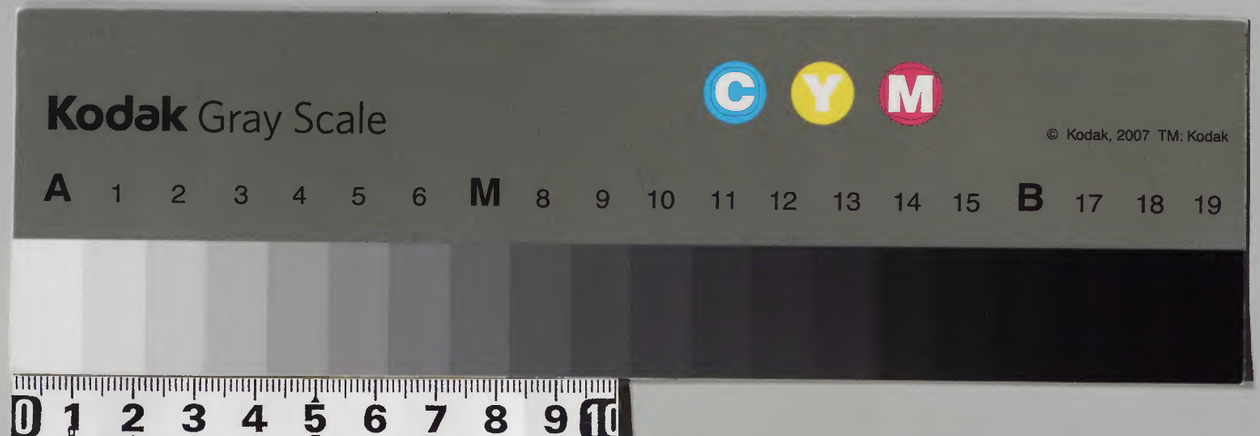

国立公文書館
National Archives of Japan

内閣文庫
番號 和 27697
冊數 4 (4)
函號 201 683

内閣文庫
和書
三七九
三函三架

内閣文庫
昭和十三年購求

国立公文書館
National Archives of Japan

窓之部

窓

白髪の杖

寛政八丙辰年首ノ冊

言出窓

日和雪の傘

春思恋

見初恋

寄文恋

聞恋

時々見恋

忘草恋

見始恋

いふかひなくさそひ出すなみだのそでの露

恋五年前より

恋五年前より引つゞき

みそぎ川ながれの末の末までも

恋の天の川

恋八年前より

恋八年前より引つゞき

今もなほ

恋八年前に逆さ恋

人待つとさしも草ともしるからに

あるにもあらぬ我身かな

初恋

あるかなきかの風やふくらん

契恋

いつはりのなき世なりせば我身にも

恋五年前より引つゞき

契りおきしつゝみの井筒

疑ひ恋

国立公文書館
National Archives of Japan

霧中恋

振宿恋

恋学問好

恋学思而人云

恋筆

久紛失清水恋

寄月恋

寄月恋の井

関院宮の歌会に
きこえ物もうめりてたそのよの月
寄月恋
きえ絶のあるものおもひにやこころも月のつれなき
うら風にこころもゆやゝ月かな
寄秋霧恋
大ころの秋のものおもひやるもの霧のまよりも
霧の末もものこゝろ秋のおもひをいかに
寄秋山恋
雁秋こゑのりて秋さる山のつまふかみ
寄関恋
いそしいまこゝろよさゝ山ふかひの関ちもしものと

寄山云
なをこゝろなふかみ山のくの関の山ゑかと
寄洲云
ちまもしくへよるをけつとも
寄磯云
うらくへのこゝろもつくくとあまの秋のこゝろ
今日尚友寄河恋
いつとふれくみにつくの河かな
寄海云
つくえにいくるにこゝろもこゝろ
寄橋恋
ゑにへぬくのおもてもこゝろやふたよゝ天のこゝろ

寄井恋

寄水恋

寄垣恋

寄廉恋

寄花恋

又

寄苔恋

寄菖蒲恋

寄路恋

寄郭公恋

寄鼓恋

今ハ我うらみもはてぬ人やなぬ
うらむへき人のつれなくあらてうき

寄撞恋

昔にもあらぬ心ともしらぬまに
なれるつまの袖にあまりぬ

日数つもる雪車恋

なれそめしそうやくもの
まよふいとなれのこころも

那智中恋

なれそめしそのこころもとうらんこし
なほ

寄風恋

裏松の通殿恋

なひく草木のこころにまかせつゝ
なほ

寄蚊恋

今はまの
袖ふりあはせのそらねにも
つゝそなほうらみわひぬる

寄燈恋

ほのかなる人のこゝろもしらぬまに
ともにうき名のたつもくやしき

寄琴恋

雑之部

寄弓恋

雑之部

海辺

海路日暮
夕眺望
浦眺望
百首うつしよりたる井に海路
夏の百首
夕涼映窓
夕の汐風ふきそめて

山家燈

山家煙

山家路

山家戯

山家待女

山家雀

山家燈

山家煙

山家路

山家戯

山家待女

山家雀

山家夢

田家

田家秋

田家冬

田家春

閑

閑居雨

閑居秋

閑居夏

書へ

琴

秋述懐

秋述懐多

光述懐

懐旧

旅述懐

社旅

夕旅

百旅

羽旅

夕旅

夕旅

羽旅

月旅

夕旅

月旅

旅人後悔

寄花神祇

神祇のふるそくに花は野もせの草木
冬神祇
みふゆ木の宮おほくやこの神の
稲荷
うらしまこくふねの神にまかせ
春神祇
ちはやぶる神もまもれる
春日の行幸も有つべき大井川

きりけう七十年に
首うさぶる木のこん
つくりけつついくに
天てらす神のあとをこそのちく木の花よろづ
釋教
井をにさそひありあけの
道をしるべし一字のうち
故一位殿三回の忌
就の山ちよりて八月
冬水釋教
水のあわのふれる佛のちかひ
無有生死

尾張故大納言殿十七年の忌
にて杜神に朱うし
あるべきの由あるにより我
義氏朝臣つかまつるべきよし
やんごとなくおぼしめしまうさせ
給ひ二番
いまもまうでたまふ後ろ姿
光照院殿の御ありさま
御のごとくにおぼしめされ
まことの堂塔ふたつ
ありつるをくづし
二ヶ所にて
まうさせ給ひて
うはさの未申坤國方延山にて
それありのごとくに
こうこうまんとなり
ひとつにおつひ
こもしかくのごとくそれ
遷化しまいらせ
重ねてまうさく
うるはのゆまいもおよそ
国阪上人の自作
かきたまうたまふこと

有約不来過半夜
燒殘一支紅燭淚
閑敲碁子落燈花
獨吟古人之詩而
古人復生而
侍有餘濟人曰
朝夕之間
侍有暇讀書曰
雖今無今
性者不追

春の日に杜の二首のなかに
菊花之隱逸者也
牡丹花之富貴者也
蓮花之君子者也
文政五年
寛政六年

六歌仙の絵

[illegible]

文化五年二月院宮[illegible]
[illegible]
日枝宮御[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
文政五年春[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

寛政二年

本田隨翁喪八十八の賀

ふく人のいくよもへぬる
人の八十賀ら
ものをうれしの翁と和田も
ふく人のいくよもへぬる

祝言

光らむと
くりかへしさかえ
安積さらしを生ふ

国立公文書館
National Archives of Japan